

- 問1 東北地方では、夏の間に農作物の豊作を祈るなどの意味を込めた伝統的な祭りが各地で開催されます。農業産出額においてリンゴなどの果実の生産が盛んな特徴を持つ青森県において、巨大な人形などの灯籠（とうろう）を乗せた山車を引いて街を練り歩く祭りは何ですか。（2017年 兵庫県公立入試 類似）
1. 竿燈祭り 2. ねぶた祭り 3. 花笠まつり 4. 七夕祭り
- 問2 夏の東北地方で「やませ」が発生し、稲の不作などの冷害が引き起こされる要因として、風の性質と発生源の説明を組み合わせたものとして正しいものを選びなさい。（2019年 富山県公立入試 類似）
1. 小笠原高気圧から吹き出す、暖かく湿った風であるため 2. オホーツク海高気圧から吹き出す、冷たく湿った風であるため 3. 山を越えて太平洋側に吹き降ろす、高温で乾燥した風であるため 4. シベリア高気圧から吹き出す、冷たく乾燥した風であるため
- 問3 岩手県の地形や主要都市の立地について、東北地方の地図上の状況を説明した文として最も適切なものはどれですか。（2023年 静岡県公立入試 類似）
1. 県庁所在地の盛岡市は三陸海岸沿いの港町として発展しており、その周辺には複雑に入り組んだ海岸線を利用した大規模な工業港が集中している。 2. 県庁所在地の仙台市を中心として、県東部の太平洋沿岸には広大な平野が続いており、単調な海岸線を利用した砂浜海岸が形成されている。 3. 県の中央を奥羽山脈が縦断しており、県東部の海岸線は奥羽山脈が海に直接面することで、全域が険しい断崖絶壁の続く地形となっている。 4. 県庁所在地の盛岡市は内陸部に位置しており、そこから東へ向かった太平洋沿岸には、奥行きのある湾が連続する三陸海岸の景観が広がっている。
- 問4 東北地方の太平洋側では、6月から8月にかけて、太平洋上の北東方向から冷たく湿った風が陸地に向かって吹き込むことがあります。この風の影響で夏の気温が上がらず、米などの農作物の成長が妨げられる現象を何と呼びますか。（2017年 佐賀県公立入試 類似）
1. 季節風（モンスーン） 2. からっ風 3. フェーン現象 4. やませ
- 問5 東北地方の太平洋側において、夏に「やませ」が長期間吹き続けた際に発生する、農業への具体的な影響と背景の説明として正しいものはどれですか。（2021年 和歌山県公立入試 類似）
1. 海からの暖かい湿った空気をもたらし、稲の成長を促進させて豊作をもたらす。 2. 太平洋側に乾燥した熱風をもたらす、干ばつによって農作物を枯れさせる。 3. 強い風によって稲が倒伏し、収穫直前の農作物に物理的な被害を与える。 4. 日照不足や気温の低下を招き、稲の生育を妨げて冷害の原因となる。
- 問6 1993年や2003年の統計において、岩手県の米の作況指数（平年を100とした収穫量の割合）が30や73といった非常に低い値を示し、全国平均や西日本の山口県を大きく下回る深刻な不作となった主な要因は何ですか。（2025年 山口県公立入試 類似）
1. 冬の季節風による大雪害 2. フェーン現象による高温障害 3. やませによる冷害 4. 台風の直撃による風水害
- 問7 東北地方の三陸海岸沖は、北から流れてくる寒流と南から流れてくる暖流がぶつかり合うことで、世界的な漁場となっています。この三陸海岸沖を北から南へと流れる、栄養分が豊富な寒流の名称として正しいものを選びなさい。（2019年 広島県公立入試 類似）
1. 日本海流（黒潮） 2. 対馬海流 3. 千島海流（親潮） 4. リマン海流
- 問8 東北地方の地形について、中央部の南北に走る奥羽山脈と、その東側に位置する北上山地の特徴を比較した記述として正しいものはどれか。（2023年 愛媛県公立入試 類似）
1. 奥羽山脈はリアス海岸を形成する原因となっており、北上山地は日本最長の山脈として中央部を貫いている。 2. 奥羽山脈は東北地方の西側に位置して日本海に面しており、北上山地は中央部を南北に走っている。 3. 奥羽山脈は標高が低くならかな高原であり、北上山地は火山活動が盛んな険しい山脈である。 4. 奥羽山脈は火山が多く含まれる険しい山脈であり、北上山地は比較的古くならかな高原状の地形である。
- 問9 東北地方の6県を比較した統計において、ある県の果実の農業産出額は約833億円に達し、他の5県の132～147億円という数値に比べて突出して高い規模となっています。この県名と、その産出額の多くを占める果実の組み合わせとして正しいものを選びなさい。（2018年 富山県公立入試 類似）
1. 青森県（りんご） 2. 山形県（さくらんぼ） 3. 長野県（りんご） 4. 福島県（もも）
- 問10 宮城県の稲作において、1990年代前半に「ササニシキ」から「ひとめぼれ」への急速な品種交代が起こりました。1994年には「ひとめぼれ」の作付割合が「ササニシキ」を初めて上回ることになりますが、このような品種交代が行われた背景として最も適切な理由はどれですか。（2019年 長野県公立入試 類似）
1. 地球温暖化の影響により、宮城県の気候が冷涼な環境を好む「ササニシキ」に適さなくなったため 2. 「ひとめぼれ」が「ササニシキ」と比較して冷害に強く、かつ良食味であったため 3. 「ササニシキ」は病虫害に弱く、1990年代に県内全域で栽培が禁止されたため 4. 政府が減反政策を強化し、収穫量の多い「ひとめぼれ」のみを買い取る制度に変更したため
- 問11 夏の東北地方において、オホーツク海高気圧から太平洋側に吹き込み、奥羽山脈の東側で気温が上がらなくなる原因となる冷たく湿った風を何といいますか。（2020年 北海道公立入試 類似）
1. モンスーン 2. からっ風 3. フェーン現象 4. やませ
- 問12 山形県の北西部に位置し、日本を代表する河川の一つである最上川との関わりが深い都市について、その地理的特徴や産業を説明したものとして最も適切なものはどれですか。（2017年 東京都公立入試 類似）
1. 日本一の長さを誇る信濃川の河口に位置し、大規模な穀倉地帯を背後に持つ港湾都市である新潟市。 2. 標高の高い山々に囲まれた盆地に位置し、最上川の上流部で果樹栽培が盛んな山形市。 3. 庄内平野で生産された銘柄米の集散地として発展し、最上川の河口に位置する港町である酒田市。 4. 北上川の流域に位置し、古くから東北地方の政治・経済の中心として発展してきた仙台市。
- 問13 本州の最北端に位置する青森県は、北海道へと繋がる新幹線ルートの拠点となっています。この県の農業について、生産量全国1位を誇る作物と、その背景にある地理的要因の組み合わせとして適切なものを選びなさい。（2017年 千葉県公立入試 類似）
1. 産物：りんご、要因：緯度が高く冷涼な気候が栽培に適しているため 2. 産物：りんご、要因：中央高地の乾燥した気候が栽培に適しているため 3. 産物：ぶどう、要因：扇状地が発達し、水はけが良いため 4. 産物：さくらんぼ、要因：最上川による肥沃な平野が広がっているため

答え合わせ・解説

問1	答え 2 ねぶた祭り	青森県は全国一のリンゴ生産量を誇る農業の特徴があり、そこで行われる「ねぶた祭り」は巨大な武者人形などの灯籠を引くことで世界的に知られています。秋田県の「竿燈祭り」や宮城県の「仙台七夕祭り」などと並び、東北を代表する夏祭りの一つです。
問2	答え 2 オホーツク海高気圧から吹き出す、冷たく湿った風であるため	やませは、北に位置するオホーツク海高気圧が発達した際に、その縁から太平洋側へ吹き出す北東の風です。海からの湿気と冷たさを蓄えた状態で流れ込むため、東北地方の太平洋側で気温が上がらなくなり、日照時間も減少することで冷害が発生します。シベリア高気圧は冬の季節風の、小笠原高気圧は夏の蒸し暑さの源となる気圧配置です。
問3	答え 4 県庁所在地の盛岡市は内陸部に位置しており、そこから東へ向かった太平洋沿岸には、奥行きのある湾が連続する三陸海岸の景観が広がっている。	岩手県の内陸部には北上川が流れる盆地があり、そこに県庁所在地の盛岡市が位置しています。一方、東側の太平洋沿岸は三陸海岸と呼ばれ、特にその南部はリアス海岸という独特の形状をしています。奥羽山脈は岩手県と秋田県の県境付近を走る山脈であり、海岸線まで迫っているのは北上山地であるため、地形の名称を正確に理解しておく必要があります。
問4	答え 4 やませ	オホーツク海高気圧から吹き出す冷たく湿った空気が、北東風として東北地方の太平洋側に流れ込む現象を指します。特に初夏の稲の成長期に気温が低下することで、作物の不作を招く「冷害」の主な原因となります。
問5	答え 4 日照不足や気温の低下を招き、稲の生育を妨げて冷害の原因となる。	やませは低温で湿った風であるため、厚い雲や霧を伴います。これにより、稲の成長に必要な日照時間と気温が不足し、開花や結実が不十分になる「冷害」を引き起こします。1993年にはこの影響で記録的な米不足となり、海外から緊急に米を輸入する事態となりました。
問6	答え 3 やませによる冷害	1993年や2003年は、夏に北東風の「やませ」が強く吹き続けたため、東北地方の太平洋側を中心に記録的な日照不足と低温に見舞われました。これにより、岩手県などの地域では米がほとんど収穫できないほどの深刻な冷害（不作）となりました。一方、西日本に位置する山口県などはこの風の影響を直接受けないため、東北地方と比較して作況指数の低下は限定的でした。
問7	答え 3 千島海流（親潮）	東北地方の東側に位置する三陸海岸の沖合では、北から流れてくる寒流である千島海流（親潮）と、南から北上してくる暖流の日本海流（黒潮）が合流します。この寒流はプランクトンを豊富に含んでおり、魚を育てる「親」のような役割を果たすことから親潮とも呼ばれます。
問8	答え 4 奥羽山脈は火山が多く含まれる険しい山脈であり、北上山地は比較的古くならだらかな高原状の地形である。	東北地方の中央を走る奥羽山脈は、火山帯が重なり急峻な山々が連なるのが特徴です。一方、その東側（太平洋側）にある北上山地は、古い地層からなり、長年の浸食によってならだかな高原状の地形が広がっています。この地形の差は、農業や土地利用の仕方の違いにも繋がっています。
問9	答え 1 青森県（りんご）	東北地方において、果実の産出額が他の県を圧倒して高いのは青森県です。青森県はりんごの生産量が日本一であり、全国の約半数のシェアを誇ります。選択肢にある山形県（さくらんぼ）や福島県（もも）も全国的な産地ですが、産出総額において青森県のりんごは非常に大きな規模を持っています。なお、長野県もりんごの産地として有名ですが、東北地方ではなく中部地方に属するため、統計の対象から外れます。
問10	答え 2 「ひとめぼれ」が「ササニシキ」と比較して冷害に強く、かつ良食味であったため	東北地方の稲作は常に冷害（やませなどによる低温）との戦いでした。「ササニシキ」は非常に人気のある品種でしたが、冷害に弱いという弱点がありました。そこで、寒さに強く、かつ味も優れた「ひとめぼれ」が開発され、普及しました。特に1993年の大冷害による不作が、翌1994年の決定的な品種交代（作付割合の逆転）を後押しする結果となりました。
問11	答え 4 やませ	この風は北東の海から吹き込み、冷たく湿った空気を運んできます。東北地方を南北に走る奥羽山脈に遮られることで太平洋側の地域に留まりやすく、夏でも気温が上がらない原因となります。冬に関東地方などで吹く「からっ風」や、山を越えた風が高温になる「フェーン現象」とは異なる特徴を持ちます。
問12	答え 3 庄内平野で生産された銘柄米の集散地として発展し、最上川の河口に位置する港町である酒田市。	山形県の最上川河口に位置する酒田市は、背後に広大な庄内平野を抱えています。この平野は日本有数の穀倉地帯であり、酒田は江戸時代から銘柄米の集積・出荷を担う港町として繁栄しました。選択肢にある信濃川は新潟県、北上川は主に岩手県から宮城県にかけて流れる河川であるため、最上川の河口に位置するという条件に合致するのは酒田市です。
問13	答え 1 産物：りんご、要因：緯度が高く冷涼な気候が栽培に適しているため	青森県は緯度が高く、夏場でも比較的気温が上がりにくい冷涼な気候を有しており、これが果樹、特にりんごの生育に適しています。さくらんぼの生産量1位は山形県であり、中央高地の気候を利用したりんご栽培（生産量2位）は長野県の特徴です。また、ぶどうの生産量1位は山梨県であり、甲府盆地の扇状地などが主な産地として知られています。